

横浜能楽堂・伝統組踊保存会提携公演

能の五番 朝薫の五番

第2回 「羽衣」と「銘苺子」

平成28年1月16日(土) 午後2時開演(午後1時開場)

チケット料金：S席7000円/A席6000円/B席5000円

チケット発売：平成27年10月10日(土) 正午から(初日は電話・Webのみ)

※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません。

お申込み・お問合せ：横浜能楽堂 〒22010044 横浜市中区紅葉ヶ丘2712

電話045126313055 Web: <http://www.yml.or.jp>

能 「羽衣」 浅見真州 (観世流)



写真/能「羽衣」(観世流)浅見真州 撮影/前島吉裕

主催 横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

一般社団法人 伝統組踊保存会

支援 沖縄県、公益財団法人沖縄県文化振興会

平成27年度沖縄県文化活性化・創造発信支援事業

組踊 「銘苺子」 宮城能鳳



平成27年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

共にユネスコの「世界無形遺産」に指定されている能と組踊。組踊は、18世紀初めの琉球王国の時代、芸能を差配していた躍奉行の玉城朝薫によって作られた。能の嗜みがあった朝薫は、能の物語を取り入れながら、「朝薫の五番」と呼ばれる新たな作品群を生み出した。この「朝薫の五番」と関係性が見られる「能の五番」を、5年にわたり併せて上演する。

2回目の今回は、紫綬褒章受章者で能楽を代表するシテ方の一人・浅見真州（観世流）と組踊立方で唯一の「人間国宝」である宮城能鳳が競演。能の「羽衣」と、それと関わりのある組踊「銘苺子」を上演する。

番組

能「羽衣」(観世流)

シテ(天人)	浅見 真州
ワキ(漁夫白龍)	宝生 閑
ワキツレ(漁夫)	工藤 和哉
ワキツレ(漁夫)	則久 英志
笛	藤田六郎兵衛
小鼓	大倉源次郎
大鼓	亀井 広忠
太鼓	三島元太郎
後見	浅見 慈一 谷本 健吾
地謡	浅井 文義 岡田 麗史 小早川 修 北浪 貴裕 長山 桂三 安藤 貴康 青木 健一 小早川 泰輝

組踊「銘苺子」

銘苺子	親泊 興照
天女	宮城 能鳳
思鶴	古堅 聖也
亀千代	宮城 隆海
上使	眞境名正憲
供一	嘉手苺林一
供二	親泊 久玄
きょうちやく持	呉屋 智
歌三線	西江 喜春 上間 宏敏 玉城 和樹
箏	高良 時江
笛	宇保 英明
胡弓	川平 賀道
太鼓	喜舎場盛勝

能「羽衣」(はごろも)

漁師の白龍は、松に美しい衣がかかっているのを見つけ持って帰ろうとします。すると、天女があらわれ羽衣を返してくれるよう声をかけます。一度は断った白龍ですが、天女が悲しむ様子を見て、天女の舞を見せてくれることを条件に羽衣を返すと答えます。天女は喜び「舞を舞うには羽衣が必要なので、まず返してほしい」とたのみますが、白龍は舞わないで帰ってしまうのではないかと思返そうとしません。それに対して天女は「いや疑は人間にあり。天に偽なきものを」と答えます。白龍は天女を疑ってしまった自分の心を恥ずかしく思い衣を返します。天女は羽衣を身につけ舞を舞い、天に帰って行ったのです。

組踊「銘苺子」(めかるし)

銘苺子という名の男が、天女を一目見て恋に落ち、羽衣を盗むと妻になれと言います。天女は天に帰れず、仕方なく夫婦になることを承諾します。二人の子どもも生まれ、仲良く暮らしていた天女は、ある日子どもたちが歌う子守唄を聞き、羽衣が米蔵に隠されていることを知ります。羽衣を見つけた天女は、子どもたちを寝かしつけると天に帰っていきます。銘苺子親子が悲しみにくれていると、親子の話が王府まで知れ渡ります。王府は、銘苺子には位冠を、姉の思鶴には城内での養育を、弟の亀千代には成人したら役人に取り立てることを約束します。親子は喜び、踊りながら家に帰って行ったのです。



浅見真州 (あさみまさくに)

シテ方観世流。1941年生まれ。幼少期は父・浅見真健に師事、その後観世寿夫の薫陶を受ける。復曲や実験的上演にも積極的に取り組み、作曲、作舞、演出においても優れた成果を示している。00年第21回観世寿夫記念法政大能楽賞、05年第55回芸術選奨文部科学大臣賞、同年紫綬褒章、11年旭日小綬章受章、12年日本芸術院賞等受賞。



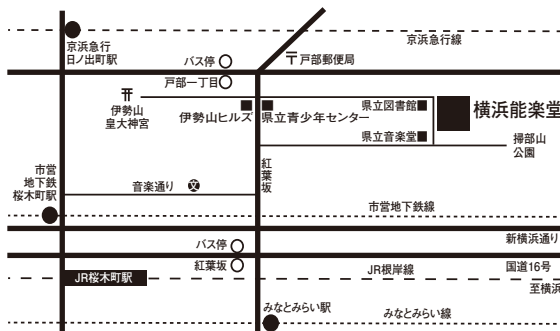
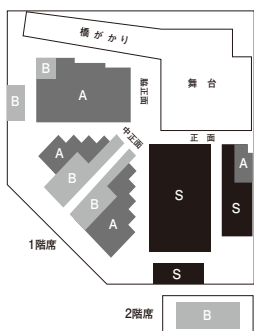
宮城能鳳 (みやぎのうほう)

琉球舞踊家。1938年生まれ。幼少時から琉球舞踊を習い始め、宮城能造に組踊・琉球舞踊を師事。女形として卓越した技法を習得し、国内外の公演に多数出演。また、沖縄県立芸術大学や国立劇場おきなわで後継者の養成に努める。08年旭日小綬章受章。重要無形文化財「組踊立方」各個認定保持者(人間国宝)。

「能の五番 朝薫の五番」公演予定

- 2017年 第3回 「生贄」と「孝行の巻」
- 2018年 第4回 「放下僧」と「二童敵討」
- 2019年 第5回 「道成寺」と「執心鐘入」

プロデューサー 中村雅之
アシスタントプロデューサー 石川泰菜



交通のご案内

◇電車利用/JR根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分/みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分/京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分(タクシー利用は各駅共約5分)
◇バス利用/戸部1丁目(市営バス 103 系統) 下車徒歩5分/紅葉坂(市営バス 8、26、58、89、101、105、106 系統/神奈中バス 横 43、横 44、港 61 系統/江ノ電バス大船駅行、栗木行、京急バス110系統) 下車徒歩10分
※ 駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。
※ 内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
〒220-0044 横浜西区紅葉ヶ丘27-2
http://www.yntyaf.or.jp
tel.045-263-3055

横浜能楽堂